

「延岡市食育・地産地消推進計画（案）」についての意見一覧及び本市の考え方

農林水産部 農業畜産課

No.	区分	意見の概要	本市の考え方
1	SDGsについて	<p>SDGs のことにも触れられているが、最近ではゼロカーボン推進の観点でも地産地消や旬の食材の利用がPRされている。</p> <p>食育・地産地消の観点で環境省が2021年8月30日に公表した「サステナブルで健康な食生活の提案」を参考に教育資料や取り組みに活用することも大事だと思う。</p>	<p>本計画では地産地消、旬の食材の活用、食品ロスの削減、食を生み出す自然環境保全の推進などを掲げており、これらは環境省の「サステナブルで健康な食生活の提案」とも整合するものです。</p> <p>今後、ご指摘の環境省の提案も参考にしながら、カーボンニュートラルなど多様な観点から食育・地産地消の推進に取り組んで参ります。</p>
2	地産地消について	<p>「食育」を受けている若い世代ほど、実は「地産地消」という具体的な行動が自分にどれだけメリットがあるのかピンと来ていない人が多いのではないかと。「経済圏」という枠組みでみれば「地産地消」には経済的なメリットがあり、長い目で見れば将来的には雇用創出や賃金UPといった、自分の生活の向上にも寄与することを知れば、もっと関心を持つのではないかと。</p> <p>「地産地消」による実利的かつ経済的な効果を子供のうちから認識させることで、若い世代により自発的な行動を促せると考える。そのためにも、「食育」には経済的側面も考える機会を与えてほしい。</p>	<p>本計画では、食育・地産地消の推進をきっかけとして、産業間の連携や地元産業全体の活性化につなげることを目指す「多彩な産業の元気を育む食育」を基本的視点として掲げています。</p> <p>加えて、基本的施策として、「地域資源を活用した地産地消・地産地活の推進」を掲げ、地場産物の利用・消費拡大及び地域経済の好循環化を推進していく考えでありますので、ご指摘のように地域の経済的メリットも強調しながら、今後教育現場においても地産地消と地域経済のつながりについての理解を深める学習に努めて参ります。</p>